

ルノワール+ルノワール展



「田舎のダンス」
ピエール＝オーギュスト・ルノワール
1882-1883年 オルセー美術館
©Photo RMN / H. Lewandowski / digital file by DNPAC

「ピクニック」
ジャン・ルノワール 1936年
Paris, Collection Cinematheque
francaise, fonds Femis; D.R.

本邦初の、Wルノワール展。ご当地では… 息子が父をまるパクリの映像も?!

日本で洋画におけるマダム人気不動のナンバールンワールといえば、印象派。印象派を代表する画家といえばピエール＝オーギュスト・ルノワール。ってことで、ルノワール作品は展覧会の動員に欠かせない目玉となっております。でも、この印象派およびルノワールの絶大な人気って、実は日本特有の現象って知ってました? ご当地フランスでリスペクトされているのは、むしろもう一人のルノワール…ジャン。画家ルノワールの息子にして映画

監督のジャン・ルノワールなのでした。

ジャン・ルノワールは1930年代当時、アメリカがリードしていた映画界に、フランス映画の存在感を知らしめた「フランス映画の父」。デキる父子は反発しあうのが常なのだが、二人は家族愛と深い尊敬で結ばれていた。

今展は父の絵画と息子の映像を並べて観ることで、その絆を実感できる「Wルノワール」展だ。日本初公開のオーギュスト18点、ジャンの映像15点。
(沢田眉香子)

- 「ルノワール+ルノワール展」
- 京都市立近代美術館
- ~7.21 (Mon)
- 一般1500円
- 問い合わせ 075-761-4111 (京都市立近代美術館)
- ※毎週金曜日は19:30まで入館可

ART
公開中

シリーズ楽ってなんだろう



長次郎黒樂茶碗 銘「句当」

世界に冠たる、京のセラミックアート 「楽」ってなんだか知ってます?

やきものブームで、いろいろとウンチク語る人も増えてきましたが、京都、いや日本を代表するやきものといえば「楽」。手で形作って低温で焼かれた土ものの陶器を総称して樂焼と呼ぶこともあるが、本来は千利休の思いを、初代長次郎が茶碗に表現したのがその始まり。樂家では400年にわたって茶を飲むための器を、しかも代々長次郎の思いを引き継ぎながら、作者の個性を出して焼き続けている。もちろんこんな器、世界中探してもめったにない。上京区の樂美術館ではそんな樂家

代々の作品を一堂に並べて、歴代の作風と魅力を伝えている。

茶道のための器、400年の伝統、と奥深くも敷居の高い世界に見えるが、毎年夏に「楽」の不思議と魅力を、子どもにも分かるように展示解説している。当代自らが子どもたちに語りかけるイベントもあり、「知ってるつもり」卒業には最適なタイミング。大人の夏の研究課題としても、よろしい。

(沢田眉香子)

- 「シリーズ楽って何だろう」
- 樂美術館
- ~8.31 (Sun)
- 一般700円
- 月休
- 問い合わせ 075-414-0304 (樂美術館)

ART
公開中

~京女・真摯のactive life~ 月刊 芸妓自身!!

「自前になって〇×年…」の巻

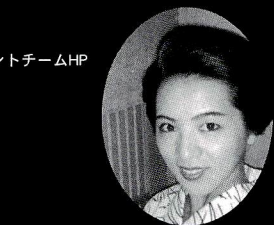
置屋さんから独立して自前(フリー)の芸妓さんになってどのくらい経つのでしょうか? 置屋さんにいた舞妓さんの頃はお座敷に行っても門限があり、お座敷からお座敷へ移動しても絶対に「〇〇へ寄せてもらいました」と置屋さんへ連絡を入れます。置屋さんとしても若いお嬢さんをお預かりしている責任感もあるので、必ずそうしてもらわないと困ります。なんせ舞妓さんは(たいていが)10代、少しくらい自由も欲しいけれど、公休日までちょっと我慢なのであります。お屋間もお座敷の時間が変更になったりもするので、出かける時は家の人に言うて出ますねえ。

そんな置屋生活6年の後「自前」の芸妓さんになって十数年。今や置屋さんに戻りたい!! と思う日も…。自前になるという事は「何でも自前」になりますから…。

もちろん、お稽古のお月謝やお着物もそうですが、ハウスクークも自前ですので、朝からお稽古があり、1日に2つや3つ重なった日はバタバタとしてお座敷へ行く訳で、そりゃもう用事をしながらで凄まじい日となる事もしばしば。置屋

さんにいた頃にはお掃除のおばちゃんやご飯のおばちゃんがいだったので、綺麗にすることとお稽古のことだけを考えていれば良かったのです。しかし、「自前になったら自由〜!」っと喜んでたのもつかの間、毎日のハウスクークや、季節の変わり目には衣替えに着物のケアも自前…。お座敷のスケジュール管理も…ですが、こちらは一応「店借り」といって、置屋さんがしてくれてはったようにお座敷の連絡網を回して下さるお家に所属致します。しかし、頻繁に自分の手帳と店借りの帳面を見合わさないとドキドキします。私の場合歌手活動もありで、Wブッキングになったら怖いので、すーごーい気をつけています。

すっかり京都は祇園祭モード!! 夏のお着物、何があったかなあ…?



お世話になり続けている置屋のお母さんと宮高で!